

## 6050型リバイバル車両2編成目の就役について

～2/11より、野岩鉄道・会津鉄道に直通運転します～

東武鉄道株式会社

東武鉄道では、日光線全線開通90周年を記念して旧6000型リバイバルカラーに塗装変更いたしました6050型列車について、大変好評をいただいておりますところにより、新たに1編成塗装変更を行いましたことをご知らせいたします。

6000型リバイバル車両は、2019年11月30日（土）から6162Fの運転を開始し、現在1編成が南栗橋～東武日光・新藤原間を運転しております。車両設備の都合で冬季の野岩鉄道・会津鉄道（～会津田島）への直通運転を行っておりませんでした。今回のリバイバル塗装車両であります6179Fにおきましては、2月11日に実施されます「6050型リバイバルカラー 野岩線・会津線初乗り入れ直通臨時電車ツアー」から直通運転開始、翌2月12日から通常運転にて野岩鉄道・会津鉄道への直通運転を行います。

「6050型リバイバルカラー 野岩線・会津線初乗り入れ直通臨時電車ツアー」については[こちら](#)をご覧ください。

6000型リバイバル車両の概要については以下の通りです。

6000型リバイバル車両は、車両設備は6050型をそのままに、外装及び座席モケットを車両更新前の6000型のデザインを施した車両です。



6000型リバイバル車両（左下：座席）



旧6000型

6000型は、当時の旧型車両を置き換える形で1964年（昭和39年）から1966年（昭和41年）にかけて2両編成2編成、計4両が新規で製造されました。主に日光線系統の快速列車、快速急行列車に使用されてきました。非冷房車であったこともあり、1985年（昭和60年）10月から1986年（昭和61年）10月にかけて6050型に更新され、その役割を終えました。外装塗装色は、ロイヤルベージュとロイヤルマルーンのツートン、座席モケットは金茶色といわれるカラーのものを使用しています。

6050型は、1986年10月の野岩鉄道の開業に伴い、6000型を更新した車両と、増備用として新造した車両があります。急勾配や寒冷地の降雪対応として、抑速、抑圧ブレーキ、砂撒き装置を備えています。座席はクロスシートの4人掛けと出入口部は2人掛けシートを使用し、トイレを備えた車両です。現在南栗橋～東武日光・新藤原間において急行・区間急行・普通列車として運用しているほか、野岩鉄道・会津鉄道にも乗り入れています。

以上